

文明ノ獣

ブンメイノケモノ

劇団レトリート内閣 第23回本公演

文明ノ獣

ブンメイノケモノ

戦争から2年。
インドシナで戦死したと思われていた男が突然帰還し、みなが驚いた。
しかし、帰りを待っていた妻はきこなく、
負傷した男も以前とは様子が変わってしまっていた。

二人は苦しい生活の中で子どもを授かる。
生まれてきたのは、全く似ても似つかぬ双子の兄妹。

双子が生まれた時、男は恐れおののいた。
男は、戦時中に現地の人に吐かれた呪いの言葉を思い出していた。
「お前は獣の子を授かるだろう」

その後、男は失踪。一家は離散し、双子も別々の道を歩き始める。

所得倍増計画、東京オリンピック、学生紛争・・・
時代の波にのまれながら暮らす二人の中に、
男が残した戦争と獣のDNAが目覚めはじめる。

劇団レトリート内閣、近鉄アート館初進出！
双子の数奇な運命を通じ、激動の戦後70年を描く

出 演

福田恵

川内信弥

藤京子

Q本かよ

たはらもえ

遠坂百合子 (リリエアライン)

青木道弘 (ArtistUnit イカスケ)

うえだひろし (リリバットアーミーII)

白石幸雄

Maa (空∞羽/pat'Z)

田中高樹 (劇団そとばこまち)

佐々木ヤス子

伊藤駿九郎 (KING&HEAVY)

水木たね

山田麻結

藤谷以優

脚本・演出/音楽 三名刺繍 (みなししゅう)

劇団レトリート内閣全作品の脚本・演出・音楽を手掛ける。
演劇と音楽に留まらず、映像や身体表現から影響を受け、パフォーマンス性の高いステージングを展開。
耽美と笑い、詩と音楽を自在に行き来するエンターテインメント空間を築く。演奏家としての顔も持ち、
バンド「白色テロル」を主宰。2013年の解散まで、全楽曲の作詞作曲を手がけた。

照明/奥野亨也 舞台監督/奥田宏人 舞台美術/サカイヒロト 音響/八木蓮(baghdad cafe) 効果映像/ハンモントシゴ(paravara)
制作協力/倉嶋由実(スタッフステーション) 宣伝写真撮影/一宮辰徳 舞台映像撮影/武信興行
協力/ArtistUnit イカスケ KINGS&HEAVY 空∞羽 劇団そとばこまち スタッフステーション 三名刺繍 baghdad cafe pat'Z paravara リリエアライン リリバットアーミーII

Kintetsu
近鉄アート館

劇団
レトリート
内閣

レトリート内閣 検索
http://www.retoruto.com

お問合せ！劇団レトリート内閣
✉ mail@retoruto.com
☎ 090-8466-5400

2015/
6/5^[FRI] ~ 7^[SUN]

6月5日(金) 19:30 開演

6月6日(土) 15:00 開演★ / 19:00 開演★

6月7日(日) 13:00 開演 / 16:00 開演 ☆

★ 受付開始：当日券販売は開演の45分前 ★ 観劇は開演の30分前 ★ 5歳未満は入場不可
★ 座席指定を過ぎますとお席の指定を解除させていただきます (お席の指定番号をご用紙)

★☆の回は本編終了後におまけステージあり

★ 6/6(土) 15時 & 19時の回

『安定志向の新ネタ披露「市民サービスの獣」』

公務員妻オコンビ、安定志向
そんな二人が近鉄アート館でネタを披露
公務員がハルカスからワカス!!
なんてもやります、それもこれも市民サービス

☆ 6/7(日) 16時の回

『リーマン俳優こみたおのリーマン講座「会社の獣」』

会社、それは高度文明化した日本で戦ったたちが争う場所
劇団レトリート内閣の誇るリーマン俳優こみたおが
会社というジャンルでサバイバルする方法を伝授
すべての中間管理職へ捧ぐ、板挟みのバッド

近鉄アート館

〒545-8545 大阪市南船場区問屋敷第1-1-43
あべのハルカス近鉄本店 ウイング館6階

Tel: 06-6622-8802 http://www.kintetsu-artkanjo/

近鉄大阪阿部野橋駅・JR・地下鉄天王寺駅下車すぐ



前売 = 3,300円 当日 = 3,800円 全席指定/税込 4月11日(土)販売

- チケットぴあ (チケットぴあでも購入可) = 0570-02-9999 (コード=443-001)
- イープラス (ファミリーマートでも購入可) = http://eplus.jp (PC携帯共通) **【スマホで】**
- 近鉄アート館チケットセンター = 0570-023-300 (10:00-18:00)
- 劇団レトリート内閣

WEB予約 www.retoruto.com (PC・スマホ)
www.retoruto.com/mobile (携帯)
メール予約 日時・人数・申込者名・連絡先電話番号を
mail@retoruto.com までお送りください
TEL予約 050-5884-7657 (9:00-23:00)



私たちは獣だった



私たちは獣だった
高度成長という檻の中で咆哮していた

焼け跡にラジオが流れ、日本がひざまずき泣く
その片隅で、双子の兄妹が生まれた
凶暴な兄と薄幸の妹
ひとつの魂に狼を宿し

故郷を捨て、素性を捨て、お互いを捨てて、大人になった
そして記憶の底に封印していた、あの事件がよみがえる
私たちは獣だった――